



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033-4
編集兼人 杉本一男
半年間 1,200円 送料共
振替口座番号
労金大牟田
0968946-005

公判のお知らせ
11・9 三池大炭害裁判公判
一月二十五日の公判は会社側証人の都合で延期になりました。二月十四日午後一時から、福岡地方裁判所で。(47回)

執行部が各鉱の入坑点検を実施
一月七、八、九日の三日間、四山、三川、有明の順で入坑点検を実施し、それぞれ改善指摘事項を各鉱に申し入れました。

有明鉱大災害から一年

災害絶滅、責任追及を

一周忌の保安取り組みで要求、会社は拒否

昨年一月十八日、有明鉱の坑内火災が発生、戦後炭鉱災害史上四番目の大災害となりました。その後原因究明がすすみ、一定の保安改善が実施されたものの重大災害はあとを絶たず、会社の責任も明らかになっていません。三池労組は一周忌当日の保安取り組みの取り組みについて要求しましたが、会社はこれを拒否したため、当日は一時五十分の時限ストライキに突入します。

三池労組は一月十日、会社に対し、一月十八日を保安日として設定し、有明鉱大災害一周忌にあたって、具体的な取り組みを実施するよう、昨年の有明鉱大災害、さらに十月から十二月の連続重大災害などの教訓をふまえ、今年も重大災害を撲滅するための決意を明らかにし、保安体制の確立をはかるために、一鉱において坑内火災が発生し、八

要求書

十三人の尊い労働者の命を奪い、十六人のCO中毒患者を出した大災害から今年一月十八日一年を迎えます。

三池労組は、有明鉱大災害後、会社に対して、災害の原因と責任を明らかにし、保安の抜本的な見直しと改善を実施して災害撲滅をはかるよう強く要求してきました。

しかし、会社の生産優先、保安軽視の姿勢は改められず、その結果有明鉱大災害後も十月、十一月、十二月と連続重大災害が発生し、一年間に八十七人という大量の死亡者を出すにいたりました。

このような事態に対して、遺家族の悲しみと怒りはもちろんのこと、三池炭鉱に働く労働者や家族はもとより、社会的にも会社はもつと真剣に保安確保の取り組みを強化し、安心して働ける職場を作れという声が増大しています。

したがって、三池労組はこのような状況の中で有明鉱大災害および連続重大災害の教訓をふまえ、一月十八日の有明鉱大災害一周忌にあたっては、左記の内容を前向きに検討され実施されるようここに



大災害から1年、死者の怨念と遺族の怒り悲しみは消えず、参加しない遺族もいた(13日、市民会館での合同慰霊祭)

三池炭鉱大災害後、十月、十一月、十二月と連続重大災害が発生し、一年間に八十七人という大量の死亡者を出すにいたりました。

このような事態に対して、遺家族の悲しみと怒りはもちろんのこと、三池炭鉱に働く労働者や家族はもとより、社会的にも会社はもつと真剣に保安確保の取り組みを強化し、安心して働ける職場を作れという声が増大しています。

したがって、三池労組はこのような状況の中で有明鉱大災害および連続重大災害の教訓をふまえ、一月十八日の有明鉱大災害一周忌にあたっては、左記の内容を前向きに検討され実施されるようここに

三池労組抗議の 時限ストに突入

申し入れました。

一、会社は、年頭にあたって災害撲滅をはかる決意を明らかにし、安心して働ける職場を作るために一月十八日は各鉱の生産を中止し、終日保安日として不安全箇所の除去、退避訓練、保安教育などの取り組みを就業時間内に実施

主張

有明鉱大災害から一年を迎えます。昨年は、三池炭鉱に働く労働者にとつて、一月十八日の有明鉱大災害に明け、十二月十六日の有明鉱大災害に響き、八十七人の尊い労働者の命が奪われるという暗い一年でした。

同じ炭鉱労働者として、遺家族の悲しみと怒りを考える、なぜこのように次からつぎへと重大災害や頻発災害が引き起こされ、人間が虫けらのように殺され続けている事実、あらたに

主張

有明鉱大災害から一年を迎えます。昨年は、三池炭鉱に働く労働者にとつて、一月十八日の有明鉱大災害に明け、十二月十六日の有明鉱大災害に響き、八十七人の尊い労働者の命が奪われるという暗い一年でした。

同じ炭鉱労働者として、遺家族の悲しみと怒りを考える、なぜこのように次からつぎへと重大災害や頻発災害が引き起こされ、人間が虫けらのように殺され続けている事実、あらたに

**全力を結集して
災害撲滅のたたかいへ**

三池炭鉱は、保安の抜本的な見直しについて、次のような内容を改善することが重要だと考えます。

一、各職種(機械、電気、仕組など)の人員を増員し、保安委員、推進員の権限を強化し、退避訓練については、非常時を想定して内容を充実させること。

二、保安機構を充実し、各鉱に保安専任副長を新設して、次に保安責任を徹底すること。

三、保安会(一時間)の内容を六、月二回、三十分の保安日

三池炭鉱は、保安の抜本的な見直し、充実した保安点検作業を実施すること。

七、保安機器・器材の設置、点検補修を見直し、増強すること。

八、退避訓練については、非常時を想定して内容を充実させること。

九、各職種(機械、電気、仕組など)の人員を増員し、保安委員、推進員の権限を強化し、退避訓練については、非常時を想定して内容を充実させること。

十、保安機構を充実し、各鉱に保安専任副長を新設して、次に保安責任を徹底すること。

十一、保安会(一時間)の内容を六、月二回、三十分の保安日

【資料】 1984年度 各鉱別災害、負傷状況 (三池労組調べ)

鉱	程度	月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
四山	軽傷	2	6	6	2	5	4	1	2	6	6	7	6	53
	微傷	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	保安教育	7	7	16	6	5	10	12	4	5	5	2	0	79
計		9	13	22	9	11	14	13	6	11	11	9	6	134
三川	軽傷	0	3	5	4	4	4	4	2	3	3	3	2	37
	微傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保安教育	0	0	2	7	7	13	8	4	11	4	6	4	66
計		0	3	7	11	11	17	12	6	14	7	9	6	103
有明	軽傷	99	3	8	3	0	5	3	6	3	3	3	3	139
	微傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保安教育	0	0	2	2	5	7	5	5	3	5	0	3	37
計		99	3	10	5	5	12	8	11	6	8	3	6	176
本所	軽傷	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
	計	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
合計	軽傷	101	12	19	9	9	13	9	12	13	12	13	11	233
	微傷	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	保安教育	7	7	20	15	17	30	25	13	19	14	8	7	182
計		108	19	39	25	27	43	34	25	32	26	21	18	417

注(1) 軽傷は軽傷以上のことで、計233人の内訳は死亡87人、重傷143人、軽傷3人で、軽傷が異常に少ない。
注(2) 軽傷の少ない分は保安教育(保安部預け、統計に入らない)とみられる。
注(3) このほかに現場預け(出勤扱いで自宅待機)があるが実数は未確認。

地底

大雪の中で有明鉱坑内火災の衝撃と、怒り悲しみが、昨日のこのように思い出される。あれから一年。会社は法廷

の場でその責任を否定するが、依然として四人の命が奪われ、深刻な保安への脅威はつづく。

「A新聞の遺族の追跡調査によれば「経済的不安」より「精神的な傷跡」が深いという。人の命は金で買えないという証しであり、生涯この重荷に耐えていかねばならない。また九割の遺族が「人災」だと考え、民事訴訟にもひそかに高い関心を持つ。死者の怨念は晴れようもないが、残された者も残酷な苦痛の中で生きていへ。」

「三池闘争から四半世紀。二十五年前の一月五日、三万人のデモが山の上クラフを包み首切り勸告状を空から返上した。二十五日には会社はロックアウトを通告、三池労組は無期限ストライキに突入した。こうして三池闘争の幕は開いたが、現実の炭鉱は、炭鉱労働者の実態はどうか。英国の炭鉱労働者のストは十九日に入った。」

「連二千万、中国一千万、日本の三百万は、数千万の人々が死んだ第二次世界大戦から四十年。核戦争の危機は深まり、戦争の危険は絶えない。中曽根内閣のもつての三年間、二・三割の防衛予算の突出は国民生活を圧迫しつつ、加えてロケットの間に、スターウォーズ計画に理解を示し、ますます増幅する。」

「春闘へ本格的始動。春闘も三十年の節目だが、このところ十連敗と押されつぱなし。実質賃金の停滞がつづく中で炭鉱賃金は二・三割、三年は他産業の半分というみじめな状態で「地下労働にふさわしい」は、はるか彼方のものとなり「人並み」が焦眉となつてくる。石炭化、自給でなく今こそ原点にかえることが望まれる。」